7大学に72講座

大学名	組織・分類	講座名	寄附母体	合計寄附金額	期間	研究内容（ウェブサイト等より抜粋）
		発生・医療工学（三共）	三共株式会社	250百万円	平成14年11月～平成19年10月	当講座は「モデル動物による新遺伝子改変法の開発、安全性と効率の良い遺伝子導入法の開発、臓器移植・再生医療の基礎的研究の推進と臨床講座との連携」を図ることを目的として、平成14年11月1日に開設されました。 東京大学大学院医学系研究科・代謝生理化学分野（栗原裕基教授）との連携によって、ジーンターゲティングやクローン技術などの発生・生殖工学的手法を駆使して、遺伝子改変動物の創出や新しい手法の導入および開発、再生医療の基盤研究に取り組んでいます。
		メタボローム	小野薬品工業株式会社 株式会社島津製作所	300百万円	平成15年 2月～平成20年 1月	記載なし
		システム臨床腫瘍学	大鵬薬品工業株式会社	120百万円	平成15年11月～平成18年10月	記載なし
	東京大学22世紀医療センター寄附講座（1					
		健診情報学	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	125百万円	平成16年6月～平成21年5月	健診をはじめとする予防医学に関わるデータを有効活用する道筋を確立し、予防医学の分野の発展に大きく寄与することを目標としています。そのために、医療情報学と社会医学との二つのアプローチを柱とし、加えてその周辺のさまざまな学問を援用して、健診データを真に活用するための研究を行います。
		睡眠障害解析学	アルフレッサ・ファーマ株式会社	90百万円	平成16年11月～平成19年10月	睡眠障害の疾患感受性遺伝子を検索し、得られた遺伝子の機能および役割を解析することにより、過眠性疾患や不眠性疾患などの睡眠障害疾患における新しい治療法を見出すことにあります。
		免疫細胞治療学	株式会社メディネット	150百万円	平成16年6月～平成21年5月	●生体におけるダイナミックな免疫応答の分子レベル細胞レベルでの解明 ●抗原特異的な免疫応答の誘導技術の確立 ●生体における免疫制御機構の解明と治療への応用 ●癌に対する免疫細胞治療の臨床試験（研究）の実施 ●組織移植における免疫制御機構の解明
		臨床分子疫学	田辺製薬株式会社	200百万	平成16年6月～平成21年5月	日本人のmetabolic syndromeに関する臨床疫学的解析を行ない、さらに分子遺伝学的手法を用いたヒトとモデル動物のゲノム解析を通じてmetabolic syndromeの疾患感受性遺伝子（群）を単離し、心血管疾患の新たなリスク診断法や新規治療薬の開発に貢献することを目的と致します。
		ホスピタル・ロジスティクス	佐川急便株式会社	125百万円	平成16年6月～平成21年5月	これまでの医療機関における物流とは、病院の中で薬や材料を供給することを指していました。しかし、今後は病院の中だけではなく、外との物流の可能性について検討する必要が出てきています。 そこで、「ホスピタル・ロジスティクス講座」では、人やモノが動いている病院の中で、病院スタッフがニーズを把握したり、物流分野の専門家が理論的に考えたり、物流業者が企業の立場から考えて、同じ問題に向き合いながら各々の知識や経験を活かして病院における物流のあり方について研究しています。

7大学に72講座

大学名	組織・分類	講座名	寄附母体	合計寄附金額	期間	研究内容(ウェブサイト等より抜粋)
		腎疾患総合医療センター	テルモ株式会社	75百万円	㍻16年6月～㍻19年5月	わが国の腎補助療法は、血液透析(HD)が主体で腹膜透析(PD)および腎移植は著しく少ない。 PDは末期腎不全治療において、残腎機能保持やQOLに有利な場合があり、HDと同様な療法であるが、正しく認識されていない。その理由として、医学的および社会的要因がある。当講座では、包括的腎補助療法の概念に基づき腎不全患者様に、安全で快適な腎不全治療を提供することを通じ、日本の腎不全医療の発展に寄与することを目的とする。
		統合的分子代謝疾患科学	武田製薬工業株式会社	150百万円	㍻16年10月～㍻21年9月	本拠点は、生活習慣病等にかかったヒトの組織と健常者の組織で、どの様な遺伝子の発現が変化しているのかDNAチップなどを利用して検討し、生活習慣病の発症に関わっている遺伝子を網羅的に見つけ出すことを目的としています。更にDNAチップの検討によって生活習慣病で悪影響を及ぼしていると考えられる遺伝子の候補の中から、ゲノム解析によって糖尿病など生活習慣病の原因遺伝子が存在すると考えられる場所に近いところに存在する遺伝子や、生活習慣病のモデル動物の解析によって機能的に有望な遺伝子という観点から絞り込みを行い、生活習慣病のかぎを握る分子を発見します。
		先端臨床医学開発	アンジェス エムジー株式会社	120百万円	㍻16年10月～㍻19年9月	心血管系・癌・中枢神経疾患などをターゲットとした基礎研究及びトランスレーショナル研究を推進し、新規治療法の探索と開発を目標としています。医学・ライフサイエンスの研究とともに、先進的な産学連携の拠点としての位置づけやバイオ産業への関与も含めて、今後の日本に様々な貢献ができるよう、邁進していきたいと考えています。
		加圧トレーニング・虚血循環生理学	株式会社サトウスポーツプラザ	125百万円	㍻16年10月～㍻21年9月	加圧トレーニング TM(発明者:佐藤義昭氏) は、下肢あるいは上肢を空圧式加圧バンドで加圧し、適度な血流制限下での運動により短期及び軽い負荷にても筋肥大効果が期待される、まさに、各種疾患患者ならびに高齢社会にふさわしいリハビリ法であります。また、成長ホルモンをはじめとして、内分泌系が賦活化されることから、疾患の種類によっては、直接的な改善効果が期待されます。各種疾患患者に対し、このトレーニングを施行し、そのリハビリ効果、疾患に対する直接的または副次的な効果を研究し、また従来のリハビリ法との比較試験を行い、本法の有用性を研究します。これらにより、健常者同様に、各種疾患患者においても筋肥大効果(廃用性萎縮の改善)が期待されます。これらの効能により、日本の介護予防に貢献するものと確信しています。一方、心筋を中心とする基礎電気生理(循環器内科基礎電気生理学教室252研究室)をはじめ、骨格筋などの興奮性細胞の電気生理学的及び分子生物学的基礎的研究も行っております。こうした検討の応用により、本法の機序の解明をめざしております。

7大学に72講座

大学名	組織・分類	講座名	寄附母体	合計寄附金額	期間	研究内容（ウェブサイト等より抜粋）
		健康医科学創造	株式会社日立製作所　株式会社日立メディコ	98百万円	平成17年 1月～平成19年12月	本講座は、人間の生命および健康維持・増進に対して基礎・臨床医学の両面から科学的探索を行い、22世紀に向けて創造的な医療の実現を目指して人類貢献を行うことを理念としています。
		関節疾患総合研究	中外製薬株式会社	75百万円	平成17年 3月～平成20年 2月	生活習慣データ、環境因子、ゲノム情報など、変形性関節症および関節リウマチへの関与が示唆される情報を統合的に解析することにより、これら関節疾患の危険因子を同定し、その分子背景に迫り、更には治療の標的分子の同定を目指す。
		医療経営政策学	ニッセイ情報テクノロジー株式会社	90百万円	平成17年 4月～平成20年3月	本講座はいまだ本邦において未成熟である医療政策学・医療経営学の研究基盤を確立し、多施設にわたる情報ネットワークを活用して、包括制度をはじめとする諸制度下において医療の質と効率性の向上をより高い次元で実現するための学際的研究と政策提言、およびエビデンスに基づく応用的医療経営戦略の策定と実践を目的としております。
		コンピュータ画像診断学／予防医学	株式会社ハイメディック　GE横河メディカルシステム株式会社	250百万円	平成17年 5月～平成22年4月	本講座では、ハイメディックが同センターに設置予定のPET 装置や3.0 テスラーのMRI装置など最先端の診断機器から得られる画像データなどを集約し、データの解析法や予防医学領域への応用の可能性について、連続的・体系的に研究する。また、得られた成果から、画像診断を中心とした予防医学の質を向上させる医療技術の創出を目指す。
		臨床運動器医学	エーザイ株式会社　馬淵　明彦	137.5百万円	平成17年10月～平成22年 9月	Evidence based medicine (EBM)の概念が世界的に定着しつつある中、運動器疾患の病態・診断・治療に関する日本人を対象としたエビデンスは明らかに不足している。「臨床運動器医学」では、日本人における運動器疾患、特に脊椎疾患や神経疾患に関する質の高いエビデンス創出を果たし、またその分子背景に迫り、更には治療の標的分子の同定を目指す。これにより、日本における運動器疾患の予防・治療の飛躍に資することを目的としている。
		医療環境管理学	エア・ウォーター株式会社	125百万	平成17年 7月～平成22年 6月	高齢化社会の到来による抵抗力の低下した患者の増加や、SARSなどの新興再興感染症の出現により、水、空気をはじめとした病院環境を整備する必要性が世界的に高まっています。今回の「医療環境管理学」においては、特に、患者の胸腔や腹腔が開放される手術室や、重症患者の集中治療を行うICUなどにおける、①「環境に配慮した病院設計学」の構築、②欧米の規準に準拠した滅菌基準の作成、③感染性廃薬物や医療ガスの処理技術の普及、④製剤などの低温保存技術の開発などを目指してまいります。
		臨床薬効評価学	クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社　三井物産株式会社	75百万円	平成17年12月～平成20年11月	東大病院「22世紀医療センター」の治験研究/事業プロジェクトは、日本における治験促進と治験プロセスの改善を図るために重要なイニシアティブとなります。 治験手続の標準化、国際化、ITの利用促進、高度で効率的な治験を目指し治験環境を改善するために非常に重要なプロジェクトです。さらに、医師に対する治験教育の促進、また治験のプロフェッショナルとしてCRO／SMOの位置づけの向上にもつながる事業となります。

7大学に72講座

大学名	組織・分類	講座名	寄附母体	合計寄附金額	期間	研究内容（ウェブサイト等より抜粋）
		医療安全管理学	東京海上日動火災保険株式会社	125百万円	平成17年12月～平成22年11月	
	医科学研究所寄附研究部門(6)	細胞ゲノム動態解析	株式会社ビー・エム・エル	350百万円	平成14年4月～平成19年3月	私たちはこれまで、Rasの制御因子、PI3-キナーゼと上皮細胞がん、MAPキナーゼカスケードの構成因子等について研究を進めてきました。こうした研究をふまえて、細胞内シグナル伝達系のプロテオミクス技術を生かした網羅的解析法を確立し、さまざまなシステムを用いて研究していこうとしています。
		幹細胞組織医工学	株式会社デニックスインターナショナル 株式会社日立メディコ	120百万円	平成15年7月～平成18年6月	この研究部門は当研究所の持つゲノム解析や幹細胞研究などの基礎生物学的基盤技術を歯胚幹細胞の研究に集結させることで、歯胚再生の研究を加速させることを狙いとしております。
		細胞プロセッシング	株式会社日立メディコ	210百万円	平成15年9月～平成18年8月	細胞プロセッシング研究部門は近年著しい進展を遂げている細胞治療や遺伝子治療を医科学研究所においてさらに促進させる目的で平成7年秋に開設された新しい研究部門である。医科研内の他の研究部，附属病院および関連病院と連携して細胞治療の基礎および臨床研究を行う。対象となる細胞は、造血幹細胞、免疫担当細胞、腫瘍細胞等であり、これらを有効かつ安全に利用するために、分離・精製、活性化、増幅、遺伝子導入、保存等の研究を行い、その臨床応用をすすめる。
		再生基礎医科学研究部門	オリエンタル技術工業株式会社 株式会社トミー精工 ソフトバンク・インベストメント株式会社	188百万円	平成17年4月～平成21年3月	私達の研究室では網膜と血液の発生、再生研究を行っています。 私達の研究室を設立した新井前教授はアメリカサンフランシスコ郊外にDNAX研究所を設立しそこで約15年間サイトカインのクローニング、サイトカインレセプターのクローニングを行ってきました。医科学研究所に1989年に研究室を開設して以来、サイトカインレセプターシグナルの解明とその血液細胞の分化、増殖への役割を中心課題として研究を展開しました。 現在、より高次構造を持ち中枢神経の一部でもある眼の発生再生研究を中心に行っていますがその背景にはサイトカイン研究ではぐくんだシグナル伝達、DNA 合成といったメカニズム研究の知見と技術があり、これを武器に臓器の発生過程、再生への分子基盤を明らかにしていきたいと考えています。
		ゲノム情報応用診断研究部門	大塚製薬株式会社	35百万円	平成12年4月～平成18年3月	ゲノム情報応用診断はまず「原因を診断する」ということを目的としています。遺伝要因はまさしく病気の原因と考えられます。ヒトそれぞれのゲノム情報の違いを調べることにより、病気に罹りやすいかどうかを診断し、予防、病気への進展の予測、薬剤の選択、投与量の決定、その人にあった栄養指導などをおこなう、オーダーメイド医療を目指しています。
		探索医療ヒューマン ネットワークシステム研究部門	株式会社アインファーマシーズ	165百万円	平成17年10月～平成20年9月	本研究部門は先端医療の確立と普及に必要な方法論を研究し、新たな先端医療研究遂行モデルを提示することを目的としています。

7大学に72講座

大学名	組織・分類	講座名	寄附母体	合計寄附金額	期間	研究内容(ウェブサイト等より抜粋)
東北大学医学部(7)						
		先端再生生命科学寄附講座	株式会社江東微生物研究所	非公開	平成15年6月1日～平成18年5月31日(3年間)	本講座は、2003年本学名誉教授となった岡本博士を客員教授とし、江東微生物研究所の寄附により、現代医学の緊急課題である損傷あるいは欠損した生体組織や臓器を人工材料に頼らずに自己再生することを目的とする。即ち、再生医学の基盤となる組織・細胞の死と再生という生命科学に関する研究・教育を充実させることを目的として設置された。
		先進漢方治療医学(ツムラ)寄附講座	株式会社ツムラ	非公開	平成15年10月1日～平成18年9月30日(3年間)	本講座の目指すところは、1)人類の遺産である漢方薬や針灸治療の効果を科学的・客観的に評価するシステムを構築する。2)現代の西洋医学を以ってしても難治性とされる疾患に対し安全かつ有効に活用できる新しい治療法を開発する。
		血液病理学寄附講座	非公開	非公開	平成17年4月1日～平成19年3月31日(2年間)	
		腎不全対策研究寄附講座	株式会社アステラス製薬	非公開	平成17年4月1日～平成22年3月31日(5年間)	
		地域医療システム学(宮城県)寄附講座	宮城県	4000万円	記載なし	1. 地域医療体制構築のための基礎的データに関する研究 2. 医療圏における医療機関ネットワークに関する研究 3. 効率的な医師の配置を行うための勤務体制等の研究 4. 地域医療に従事する医師の支援についての研究 5. 宮城県の医療行政と連携した、宮城県における実際的な医療機関ネットワーク体制の構築についての具体的な研究
		高齢者高次脳医学寄付講座	記載なし	非公開	平成17年11月1日～平成20年10月31日(3年間)	1. 高齢者における認知機能評価法の開発とデータベースの構築 2. 高齢者における認知機能障害の神経基盤の解明 3. 医療マネジメントおよび福祉介護を含めた包括的システムモデルの開発
	加齢医学研究所寄附研究部門	臨床医工学研究部門	フクダ電子株式会社	非公開	平成15年4月1日～平成18年3月31日(3年間)	東北大学の誇る先端的工学技術を臨床医学に応用した診断機器の開発、生体情報の高精度な解析アルゴリズムの開発、脳画像や肺移植手術におけるドナー・レシピエントに関する情報の双方向通信など医療情報の安全かつ効率的な転送、またこれらを駆使したIT外来の実現などに関する研究並びに医工学研究者の育成を行い、予防医学および高齢者のモニタリングを中心にした加齢医学研究の発展に寄与することを目的にする。
北海道大学医学部						
		置換外科・再生医学講座	藤沢薬品工業株式会社	非公開	平成13年4月1日～平成18年3月31日(5年間)	

7大学に72講座

大学名	組織・分類	講座名	寄附母体	合計寄附金額	期間	研究内容（ウェブサイト等より抜粋）
		分子イメージング講座	株式会社日立製作所 株式会社日立メディコ	非公開	平成17年4月1日～平成20年3月31日（3年間）	1. 新しい機能情報を得られる放射性分子プローブの開発を進める。特にFDGに代わる新しい製剤の開発、応用を推進する。 2. 分子生物学の最新の情報を画像化する、新しい分子機能の画像化を目指して、分子プローブの開発や画像技術の革新を進める。 3. PETにおけるより精度の高い、簡便な解析方法を開発し、その応用を進める。 4. 機能画像と形態画像を重ね合せする手法の改良とその実用化を進める。 5. PETで応用されている手法をMRIや光技術など、他の画像技術に利用できるような技術の開発を行う。 6. 急速に普及しているPETセンターを支援し、技術の向上を図るために、PETに関する専門家の育成を行う。
	遺伝子病制御研究所寄附研究部門	マトリックスメディスン研究部門	藤沢薬品工業株式会社 株式会社免疫生物研究所 株式会社ジーンテクノサイエンス	非公開	平成16年4月１日から平成21年3月31日までの5年間	この研究部門は，当研究所病因研究部門分子免疫分野（主任教授：上出教授）で得られた「抗体医薬によるリウマチ等の難病の新規治療法に関わる研究成果」をさらに発展させ，体細胞間に存在するタンパク質である「細胞外マトリックス」をプロセシング（酵素による切断）することで，細胞接合部位やその受容体の結合を人為的に調節する方法を開発し，関節リウマチなど難治性炎症疾患の新規治療法の研究を行います。

非旧帝大：47大学に83講座
非旧帝大かつ国公立大学法人立大学33大学に58講座

大学名	専攻	講座名	寄附母体	合計寄附金額	運営期間	研究内容(ウェブサイトなどより抜粋)
群馬大学医学部(2)						
	医学科	統合和漢診療学	株式会社ツムラ	記載なし	平成14年より開始：平成17年4月更新	
	医科学専攻(博士課程)	バイオイメージング情報解析学(DRL)講座	株式会社第一ラジオアイソトープ研究所	5千万円	平成15年7月より	放射性同意元素(RI)を利用する核医学診断は，臓器の機能異常の検出に適しており，CTやMRI等の画像診断による形態的変化を捉える前に，疾患を見つけることができる特徴がある。このRIを用いて，群馬大学所有のサイクロトロンを用いて新たに研究開発するPET製剤を使用し，癌をはじめとする各種疾患における機能変化を分子レベルで解析する核医学診断の発展に貢献することを目指している。
筑波大学大学院(1)						
	人間総合科学研究科	睡眠医学寄附講座	サニーヘルス株式会社＆フジレスピロニクス株式会社	6000万円	記載なし	研究領域は、睡眠予防医学・睡眠呼吸障害の臨床医学を核とした睡眠医学全般とする。教育領域は、人間総合科学研究科において睡眠医学概論、睡眠予防医学、睡眠呼吸障害学に関する授業科目を設定し教育を行う
金沢大学大学院(3)						
		補完代替医療学講座	財団法人石川天然薬効物質研究センター	1億5000万円	2002年2月より5年間	# 1)補完代替医療のEBMの集積・解析 # 2)我が国における補完代替医療の現状調査 # 3)生体における活性酸素・抗酸化能の測定及び抗酸化食品・薬物の開発 # 4)天然物由来の薬効物質の同定とその臨床応用 # 5)癌の化学予防食品・薬物の研究開発 # 6)赤色発光ダイオード光照射とNK活性に関する研究
		脂質研究講座	記載なし	記載なし	記載なし	現在行っている主な研究テーマは以下の通りである。 ＊1)脂質低下剤スタチンによるユビキノン濃度の効果の研究 ＊2)脂質低下剤コレスチミドによるユビキノン濃度の効果の研究 ＊3)インスリン抵抗性改善剤によるユビキノン濃度の効果の研究 ＊4)メタボリック症候群合併家族性高コレステロール血症の臨床的特徴 ＊5)CETP欠損症患者血清のコレステリルエステル逆転送に及ぼす影響 ＊4)CETP阻害剤の血清脂質，動脈硬化症に及ぼす影響について ＊7)LDL受容体以外の遺伝子(PCSK9)変異と高コレステロール血症 ＊8)インスリン抵抗性指標としてのリポ蛋白リパーゼ測定の意義について
		生活習慣病講座	石川県	記載なし	平成15年9月～平成17年3月まで	記載なし
浜松医科大学医学部(1)						
		光化学治療寄附研究部門(光量子医学研究センター内)	記載なし	非公開	非公開	肺癌に集積する光増感剤をレーザー光で励起した時に発生する活性酸素の細胞毒性を利用する癌治療法はPDT(光線力学的療法)と呼ばれ、長い臨床研究の段階を経て、現在各国で承認が得られつつある。日本では、1994年に早期肺癌、食道癌、胃癌、子宮頚癌、および異形成の治療に対する承認、1996年に医療保険の付与を経て、一般治療として普及しつつある。しかしながら、他の部位や進行癌に対する承認はこれからであり、今後の基礎と臨床研究の成果に負っている。

非旧帝大：47大学に83講座
非旧帝大かつ国公立大学法人立大学33大学に58講座

大学名	専攻	講座名	寄附母体	合計寄附金額	運営期間	研究内容（ウェブサイトなどより抜粋）
京都府立医大医学部（4）						
		東洋医学講座	株式会社ツムラ	記載なし	平成15年9月より	学生への東洋医学講義、内科学教室（膠原病・リウマチ・アレルギー部門）等を中心とした東洋医学カンファレンスを行うとともに、「漢方治療の効果発現機構の基礎的・臨床的検討」を主な研究テーマとして実施する。 なお、平成15 年12 月1 日（月）から内科外来において、「漢方外来」を実施しています。
		生体安全医学講座	株式会社ファンケル	3億円	平成16年5月1日～平成19年3月31日（3年間）	薬物－食品相互作用、疾患－食品相互作用等を対象に、食品や化粧品の生体への安全性を研究し、安全な食品等の評価基準の設定を行う。
		生体機能分析医学講座	株式会社島津製作所	1億5千万円	2005年～2010年まで5年間	生体中の血液・尿・細胞・組織等に存在する生命維持因子を最新の分析装置を用いることによって網羅的に検索し、病態の変動によって生じたたんぱく質や代謝産物を解析する。
		臓器応答探索医学講座	株式会社ノバルティス・ファーマ	1億5,000万円	5年間（平成17年1月1日～平成21年12月31日）	臓器不全における生体応答、臓器相関、人工臓器の開発に関する研究
滋賀医科大学（1）						
		睡眠学講座	複数企業による	記載なし	記載なし	1. 睡眠フィットネス事業　2. 人材育成・教育事業　3. 産業創出・研究事業
信州大学医学部（2）						
		泌尿器科学領域産学連携学講座	キッセイ薬品工業	7500万円	平成18年1月1日から平成20年12月31日まで3年間	泌尿器系疾患を中心にその診断・治療・予防に関して、より精度及び感度の高いバイオマーカーを探索する研究を通じて診断法・治療効果判定を含めた先端医療技術や病因解析技術、ゲノム、プロテオーム解析技術、蛋白質の機能・構造解析技術、薬効・体内動態予測技術などを確立する。
		医学教育・地域医療学講座	記載なし	記載なし	2005年12月より	
		循環器病再生医学講座	大塚製薬株式会社	6千万円	2004年度から3年間	本講座の開設目的は「循環器病の病態解明と再生治療法の開発」であり、大学院医学研究科臓器発生制御医学講座および附属病院循環器内科と共に、再生治療を始めとする循環器病の先端医療の開発に力を注いでいきます。
旭川医大（2）						
		消化管再生修復医学講座	札幌東徳洲会病院のほか医療関連企業8社	記載なし	平成17年4月1日～平成20年3月31日	難治性炎症性腸管障害に対する腸管組織の再生・修復が研究テーマ
		眼組織再生医学講座	医療法人社団北斗（帯広市）	記載なし	平成17年4月1日～平成20年3月31日	眼表面再建法臨床応用、網膜の再生と移植に関する分子生物学的研究
奈良県立医科大学（1）						
		住居医学講座	大和ハウス工業株式会社	6億円	平成18年度～平成23年度（6年間）	「衣食住」のうち、「疾病と食」に関する研究は多数あるが、生活習慣病の予防等のために、「住」について医学的なアプローチが必要との発想から、奈良県に縁のある大和ハウス工業（株）に提案し賛同を得た。シックハウス症候群対策、アレルギー疾患対策としてのダニ・カビ対策、アスベスト対策などの個々の疾患対策のみではなく、「住居」を切り口に、健康寿命を延ばし、QOLを高める積極的、包括的な研究を目指す。
三重大学医学部（1）						
		遺伝子・免疫細胞治療学	タカラバイオ株式会社	3億円	:2005年4月から2010年3月	肺がん、食道がんや頭頸部がん等の難治性のがんを対象としたT細胞受容体（TCR）遺伝子治療の臨床開発を推進する

非旧帝大：47大学に83講座
非旧帝大かつ国公立大学法人立大学33大学に58講座

大学名	専攻	講座名	寄附母体	合計寄附金額	運営期間	研究内容（ウェブサイトなどより抜粋）
福井大学医学部（1）	高エネルギー医学研究センター内	放射性医薬品化学寄附研究部門	非公開	記載なし	記載なし	主として生体イメージング部門ならびに放射線部での研究・臨床検査に用いられるPET 薬剤の製造研究を担当するとともに、基礎研究として「糖鎖修飾によるペプチド体内動態制御」、「再生医療における細胞追跡技術の開発」、「遺伝子治療にお けるモニタリング技術の開発」を分子イメージング部門と共同して行っている。本年度は、汎用F-18化合物合成装置を用いて合成されたF-18-estradiolの臨床展開を本格的に開始するとともに、同装置を用いるF-18-標識酢酸の合成に成功した。
岐阜大学医学部（4）		東洋医学講座	株式会社ツムラ	記載なし	記載なし	記載なし
		遺伝子治療再生医科学講座	フェロー	記載なし	記載なし	記載なし
		健康障害半減講座	岐阜県	1億円	平成16年度より5年間	1. 主要生活習慣病の県内地域・性別分布の把握 2. 特に有病者数が多いとされる糖尿病についての疫学的研究 3. 糖尿病罹患者を減少させるための糖尿病予備軍に対する予防方法の研究 4. 主な生活習慣病に関する先端医療や補完・代替医療の治療法についての調査・研究とその成果の普及
		骨関節再建外科学講座	ジンマー株式会社	記載なし	2005年1月より	
山形大学医学部（1）		眼細胞工学講座	千寿製薬株式会社	予算非公開	平成16年4月～平成19年3月まで	眼細胞の細胞株の樹立実現とその臨床応用開発研究を目的とする
富山大学医学部（1）		分子・統合情動脳科学	記載なし	記載なし	2004年4月より	脳内機構における分子メカニズムを解明し，アルツハイマー病や統合失調症，ストレス性神経症などの予防・診断・治療法の開発を目指す
新潟大学（1）	大学院医歯学総合研究科	機能分子医学寄附講座	デンカ生研株式会社	5千万円（2年間）	平成15年4月より2年間（更新）	私たちは、生体機能分子を臨床医学の診断・予防・治療に応用するためのトランスレーショナルリサーチをめざしています。すなわち、疾病の克服のため、従来の基礎科学と臨床医学の垣根を外し、双方のseedsとneedsを結びつけ、新しい産物を生み出すことを目標としています。 具体的には例えば、腎臓の代謝に関係する分子（メガリンおよびその関連分子）などの解析から、糖尿病やメタボリック症候群などの代謝疾患に関係する腎障害の発症機序の解明と臨床応用をめざしています。さらに腎不全（透析患者）における尿毒素蛋白代謝異常を予防・治療する観点から、腎臓の蛋白代謝機能を代償する再生医学的研究などにも取り組んでいます。
神戸大学（3）		臨床薬効評価学講座	三共製薬株式会社	記載なし	記載なし	当講座では、薬物の薬効・副作用の個体差を規定する薬物代謝酵素、薬物輸送系、酵素や受容体などの遺伝子・タンパク情報と、薬効・副作用・体内動態との関係を明らかにすることにより、有効かつ安全な薬物療法の適正化を目指して、研究を行っています。

非旧帝大：47大学に63講座
非旧帝大かつ国公立大学法人立大学33大学に58講座

大学名	専攻	講座名	寄附母体	合計寄附金額	運営期間	研究内容（ウェブサイトなどより抜粋）
		立証検査医学講座	株式会社シスメックス	1億5千万円	2004年10月～2009年9月	当教室では臨床検査の基本的性能評価や比較、特に自己免疫疾患診断のための性能評価などについて臨床疫学的なエビデンスを集積し、その成績に基づいた検査法の有用性の評価やエビデンスに基づいた診断法を確立し臨床現場にフィードバックします。さらに現在利用可能な検査法のみならず、広く臨床病態の解析とそれに基づいた新たな臨床検査の開発・評価を行い、EBMセンターとして幅広くエビデンスを集積・提供します。
		へき地医療学講座	兵庫県	1億3660万円	2006年1月～2010年3月	現在の医学教育は都市部の専門病院・大学病院を中心に行われています。高度な技術を必要とする専門医育成には有用な研修プログラムが構築され、その教育効果は高く評価されています。しかし総合的に疾患そして患者全体を診て、さらには患者の抱える社会背景をも分析し、必要な専門医療の手配・介護サービスを立案していく総合医・家庭医の教育システムが確立しているとはいえません。この講座では、へき地中核病院とその診療圏にある小規模病院・診療所と協力して家庭医教育プログラムを作成しその教育効果を検証していきます。また、ITを利用した遠隔診断・コンサルト体制を構築することによりソロプラクティスを行っている医師の“孤立感”の予防も重要なテーマであり今後介入していく予定です。
東京医科歯科大学医学部（2）						
		医療経営寄附講座	【企業】20社【病院】11病院【個人】3個人（詳細はウェブサイトへ）	記載なし	記載なし	医療・介護およびその周辺分野における「理論」と「実学」とを融合させ、経営の質のみならず、医療の質の向上に貢献できる人材（Hospitalist）、すなわち「学者」ではなく即役に立つ「実務家」を養成することを目的とする
		ナノメディスン（DNP）講座	大日本印刷株式会社	記載なし	2005年4月1日～2010年3月31日（5年間）	ナノメディスン（DNP）講座では、血管や角膜などの細胞の培養と移植、ならびに、これらを生体内で機能化させることによる再生医療を研究します。寄附講座の講師は大日本印刷株式会社から派遣され、印刷技術を応用した細胞培養に最適な基材を研究し、その成果を提供していきます。 なお、本寄附講座は、東京医科歯科大学生体材料工学研究所、同大学大学院眼科学分野、歯周病学分野なども連携して研究を進めていきます。
横浜市立大学医学部（1）						
	分子イメージング研究部門	DRL講座	株式会社 第一ラジオアイソトープ研究所	6千万円	平成17年4月1日～平成20年3月31日（3カ年）	分子イメージングを目指した創薬＝“次世代PET 薬剤の開発”とその臨床応用の研究
自治医科大学医学部（1）						
		フジノン国際光学医療講座	フジノン株式会社	非公開	非公開	記載なし
千葉大学医学部（4）						
		先端和漢診療学寄附講座	株式会社ツムラ	非公開	平成17年5月より	主な研究課題 1.漢方医学の病態解析 2.漢方方剤の薬理学的研究 3.漢方方剤の臨床研究 4.教育活動
		遺伝子治療寄附講座	（21世紀COE附設寄附講座遺伝子治療学）ディナベック株式会社	記載なし	平成16年11月より	以下の目的を持つCKD 新世代癌遺伝子治療研究コンソーシアム（千葉大学、九州大学、株式会社ディナベック）の中核基盤として設立。 1. 癌遺伝子治療研究の世界的拠点の一つに育て上げる。 2. 癌遺伝子治療の有効性を飛躍的に高める。 3. 斬新な癌治療プロトコールを設計し、臨床研究を早期に実現する。 4. 遺伝子治療製剤としての事業化を重要な最終課題とする。

非旧帝大：47大学に83講座
非旧帝大かつ国公立大学法人立大学33大学に58講座

大学名	専攻	講座名	寄附母体	合計寄附金額	運営期間	研究内容(ウェブサイトなどより抜粋)
		心血管病態解析学寄附講座	記載なし	記載なし	平成16年11月より	記載なし
		治療探索研究(興和)寄附講座	興和株式会社	記載なし	平成13年3月より	記載なし
大阪医科大学医学部(1)						
		高次脳機能発達総合研究	パラマウントベッド株式会社 不二化学薬品株式会社	530万円	記載なし	記載なし
大阪市立大学医学部(1)						
		生体情報解析学	記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
香川大学医学部(3)						
		細胞制御医学講座	ガルファーマ株式会社	記載なし	平成14年10月1日～平成18年3月31日ま	
		糖鎖機能解析研究部門	香川県	総額1億円	2002年度から5年間	本研究部門は、糖鎖研究が主体となった産学官連携によって地域産業の活性化、ベンチャー創出などの育成につなげることを明確な目標としています。実際の研究では、生物が利用している糖鎖の構造と機能の相関を「構造比較グライコーム」という観点から解析する事を研究レベル、および事業化の両面から取り組んでいます。中でも糖鎖研究の最大のネックであるさまざまな「天然糖鎖調製」の部分を担うことによって多岐にわたる機能解析への道を開くことが当研究部門の最大のテーマと考えます。
		薬物生体情報学(帝國製薬)講座	帝國製薬株式会社	記載なし	平成3年度より設立、現在、平成13年4月より、平成18年3月まで(5年間)更新中	医学の進歩に伴い、関連する学際的領域の重要性が拡大しているが、中でも医学と薬学の相互乗り入れは重要である。基礎医学及び薬学における基礎研究から，薬効評価，副作用評価や薬動力学的解析等の臨床的研究へ発展させるためには，学際的かつ系統的な研究並びに教育のシステムの確立が必要である。これらは医療(臨床)薬学と呼ばれる分野であるが，医学部においては存在せず，また薬学部の医療(臨床)薬学講座においてすら臨床的研究・解析はあまり行われていない。このような学際領域を埋め，基礎・臨床医学と薬学との密接な協力体制に基づいて薬物と生体の相互作用を解析し，新医薬品の創興に資することをめざして本講座は開講された。
佐賀大学医学部(3)						
		血管不全学講座	記載なし	記載なし	平成16年10月1日～平成19年9月30日	記載なし
		人工関節学講座	記載なし	記載なし	平成17年1月1日～平成19年12月31日まで	記載なし
		先端心臓病学講座	記載なし	記載なし	平成17年7月1日～平成20年6月30日	記載なし
山口大学医学部(2)						
		眼病態学講座	非公開	記載なし	平成13年10月～	基本的には，眼球を中心に視覚器を構成する各細胞の生理機能，病的状態での機能変化の制御機構，及びそれらの現象の起こる「場」としての生体の構造について，分子生物学的手法，免疫組織化学や電子顕微鏡観察による形態学的手法を駆使して研究を行っております。
		分子脈管病態学講座	非公開	記載なし	記載なし	記載なし
岡山大学医学部(2)						
		食品健康講座	株式会社エイオーエイ・ジャパ	非公開	平成18年3月で終了	
		アンチエイジング食品科学講座	非公開	非公開	平成18年4月より	非公開

非旧帝大：47大学に83講座
非旧帝大かつ国公立大学法人立大学33大学に58講座

大学名	専攻	講座名	寄附母体	合計寄附金額	運営期間	研究内容（ウェブサイトなどより抜粋）
広島大学医学部（2）						
		臨床腫瘍学講座	NPO法人ひろしまがん治療開発推進機構（HiCTDO）	記載なし	記載なし	臨床腫瘍学講座は、がん臨床試験の支援組織であるNPO法人ひろしまがん治療開発推進機構（HiCTDO）の寄附講座です。がん臨床試験の普及を目指しています。症例検討会（Oncology Meeting）を毎週水曜19時から開催しています。平成17年9月から中央点滴室にて外来化学療法を開始しました。
		人工関節・生体材料学講座	非公開	記載なし	記載なし	主な教育・研究内容 1.生理的荷重伝達と骨温存が可能な人工股関節・膝関節の開発 2.骨欠損ならびに骨壊死に対するtissue engineeringによる骨再生 3.関節温存手術における手術効果の分子生物学的解明
鳥取大学医学部（1）						
		ゲノム医工学	麒麟麦酒株式会社	記載なし	2001年4月より	1)新規の有益な人工染色体ベクターの開発と有益な情報を持つ人工ゲノムの創成 2)これを用いた疾患モデル動物・細胞系の作出 3)これらの系を用いての病気に関与する遺伝子(群)の同定、および真の意味での生理的な機能解析(単なるcDNAのトランスフェクション/過剰発現ではなく、内在的生理的な発現制御を可能にした、の意味)を行っています。 再生医療への応用が近い将来可能になるように知見を地道に蓄えています。
山梨大学医学部（1）						
		代替医療国際協力講座	応微研（山梨県石和町、堀内勲社長）	1億5000万円	2005年1月より3年間	記載なし
長崎大学医学部（1）						
	大学院医歯薬学総合研究科	離島・へき地医療学講座	長崎県および下五島の一市五町	2億500万円	平成16年度～平成20年度	離島地域に離島・へき地医療に関する研究拠点を設置し、現地のニーズに即した離島・へき地医療に関する研究を行うとともに、その研究成果の普及を行い、長崎県離島・へき地医療の向上に寄与することを目的として長崎県および下五島の一市五町の寄付により、大学院医歯薬学総合研究科に講座が設けられ、その研究基点として設置されたものです。
熊本大学医学薬学研究部（2）						
		画像診断解析学	非公開	非公開	記載なし	1. マルチスライスCTによる心大血管三次元画像の研究 2. コンピューター支援画像診断の研究 3. 低線量マルチスライスCTの開発および臨床評価 4. 造影マルチスライスCTを用いた肺血流の三次元的定量評価法の開発 5. CT、MRIにおける造影剤の体内動態の解析
		感染症阻止学	非公開	非公開	記載なし	1. C型肝炎ウイルス(HCV)による腫瘍原性亢進機序の解明と応用 HCV発現後継代した細胞に出現する抗原に対する単クローン抗体を樹立し、肝癌癌部で発現亢進している分子を同定しています。 2. HCVのワクチン開発
鹿児島大学医学部（1）						
		臨床予防医療（新日本科学）講座	株式会社新日本科学（SNBL）	計1億円	2004年4月から5年間	1)生活習慣病の病因論に関する基礎医学研究 2)その予防法あるいは治療法の開発 3)さらにその研究成果を臨床展開あるいは企業化（トランスレーショナルリサーチ）させるための研究活動を行い、その成果を通して、わが国の医療、地域経済に対して貢献することを主ある目的

非旧帝大：47大学に83講座
非旧帝大かつ国公立大学法人立大学33大学に58講座

大学名	専攻	講座名	寄附母体	合計寄附金額	運営期間	研究内容（ウェブサイトなどより抜粋）
大分大学医学部（1）		創薬育薬医学講座	株式会社メディサイエンスプラニング、医療法人相生会、株式会社ノイエス（SMO）、株式会社ランダムスクウェア	2億円	2006年4月より5年間	本講座は国際的視野に立って臨床試験に携わることができる医師を育てるとともに、豊の国臨床試験ネットワークで働いている医師の基本的教育をしようとするもの。創薬、育薬を勉強する半年間ぐらいのコースを東京と大分で開く。夜間の二～三時間コースが予定されている。受講は一般の医師のほか、治験コーディネーター（CRC）、行政や製薬企業で働いている医師などが対象。大分は、治験を含む臨床試験を行う人たちのためのコースになる。

非旧帝大：47大学に83講座
うち私立大学14大学に25講座

大学名	専攻	講座名	寄附母体	合計寄附金額	運営期間	研究内容(ウェブサイトなどより抜粋)
慶応義塾大学医学部(5)						
		漢方医学講座	株式会社ツムラ	記載なし	1993年～現在(2005年4月1日より漢方医学講座に改称)	1. 臨床にフィードバックできる基礎研究 ⇒漢方薬の作用機序を最先端の技術と慶應義塾の知的資産を活用して解明する。 2. 研究デザインに基づく質の高い臨床研究 ⇒慶應義塾の臨床力を生かした臨床的エビデンスの蓄積 3. 卒前・卒後教育の充実 ⇒慶應義塾での長年の臨床・研究の経験を生かした教育システムの構築 4. 全人医療としての漢方の役割を明らかにする ⇒東洋医学の横断的診療要素を生かし、他科と連携して患者ケアモデルを構築
		ブリジストン神経発生・再生学講座	株式会社ブリジストン	9,000万円	2005年4月1日～2008年3月31日(3年間)	再生は成体における発生の再現であるとも考えられるため、発生学の研究によって得られる知見は、再生のしくみを理解し、臨床応用するためにも役立つことが期待できます。そこで本講座では、ネズミとサルの神経発生と再生のしくみについて研究を行い、その成果を交通事故や脳梗塞などの原因で失われた神経機能を回復させることのできる治療方法の開発に役立てたいと考えています。
		サントリー心臓病先進治療学講座	株式会社サントリー	記載なし	平成14年4月1日～平成16年3月31日(その後継続も情報なし)	岩永 史郎　心疾患の手術適応の心エコー図法による評価 副島 京子　器質的心疾患に合併する不整脈回路の同定及びカテーテル治療 三好 俊一郎　ヒト間葉系幹細胞、月経血幹細胞よりの心筋再生
		ユニデン運動器機能再建・再生学講座	株式会社ユニデン	記載なし	記載なし	本寄附講座は損傷された運動器の再建・再生を目的とした手術方法および治療器具の評価と開発、親和性の高い生体材料の臨床応用、さらに生体運動特性の測定などを行っている
		ファイザー成長発達講座	株式会社ファイザー	記載なし	平成14年4月1日 ～平成17年3月31日(その後継続も情報なし)	高次脳機能の発達に関する研究，成長発達・性分化/形態形成異常の診断システム，遺伝子多型を利用した薬物感受性の予測，心臓の発生および先天性心疾患発症の分子・細胞メカニズムに関する研究
東京女子医科大学(1)						
		乳児行動発達学講座	株式会社アプリカ	記載なし	記載なし	赤ちゃんの脳の働きを行動観察や脳機能画像あるいは脳波などによって多角的に解明しようというのが私たちの研究室です
東京医科大学(1)						

非旧帝大：47大学に83講座
うち私立大学14大学に25講座

大学名	専攻	講座名	寄附母体	合計寄附金額	運営期間	研究内容（ウェブサイトなどより抜粋）
		臨床プロテオーム研究寄附講座	株式会社メディカル・プロテオスコープ	記載なし	記載なし	臨床プロテオミクスが役立つひとつの分野として、製薬企業等で開発中の医薬品候補の奏効 および副作用のバイオマーカーの探索・特定が挙げられます。 医薬品の開発は臨床試験の段階で優れた効果があっても有効率が低かったり、副作用があると、開発の中止要因となります。しかし、開発初期の段階で、プロテオミクスによって薬剤の効果がある患者を選択できるバイオマーカー、並びに、副作用がでる患者を除外できるバイオマーカーを特定できるならば、これらのバイオマーカーを用いて患者群を選択して投薬することが可能になります。即ち、ある患者群に真に有効な薬剤として開発を続けることが可能となります。 このように患者群をバイオマーカーで選別できるならば、臨床開発の効率化、スピードアップにも大いに役立ちます。 臨床プロテオミクスは、臨床開発の効率化、スピードアップに貢献すると共に個人個人に安全で有効な医療を提供するための有効な手段になると考えています。
聖マリアンナ医科大学						
		育薬ベンチャー	株式会社 新日本科学	平成16年4月現在未定	平成16年4月現在未定	
金沢医科大学医学部(3)						
	総合医学研究所	皮膚真菌学研究部門	株式会社ノバルティスファーマ	記載なし	記載なし	
	総合医学研究所	タキサス研究部門(紅豆杉)	非公開	記載なし	記載なし	中国の国家一級保護植物である紅豆杉は紀元前から宮廷薬として用いられてきたが、含まれる天然成分の医学生物学的作用及び有効性を、医学的に研究することを本研究部門の目的とし、資源保護と研究開発の国際協力に貢献する。本研究は紅豆杉に含有される天然成分が持つ抗癌作用、抗炎症作用等を研究し、本態物質の同定、作用機構の解明を行う。 1. 紅豆杉の生物活性の形態学的研究 2. 紅豆杉の抗癌作用研究 3. 紅豆杉の抗炎症作用研究 4. 紅豆杉の有効成分の研究
	総合医学研究所	環境原性視覚病態研究部門	総務省、独立行政法人国際協力機構	記載なし	記載なし	現在行中の二課題は ①“電波の健康への影響：眼部に対する防護指針の根拠となるデータを得る”、および②“中国低所得農民層の失明実態調査とその対策のための人材育成”（草の根技術協力事業）である。
愛知医科大学(2)						

非旧帝大:47大学に83講座
うち私立大学14大学に25講座

大学名	専攻	講座名	寄附母体	合計寄附金額	運営期間	研究内容(ウェブサイトなどより抜粋)
		痛み学(ファイザー)寄附講座	株式会社ファイザー中央研究所	記載なし	記載なし	痛みに関する総合的な活動(以下に掲げる項目)を行ない、我が国における痛みに関する中心的拠点となる。 1. 痛みに関するスペシャリストの養成 2. 医療従事者に対する痛みについての再教育、およびそれらの養成機関における痛み教育の実施 3. 一般社会に対する痛みの問題についての啓発 4. 痛みにおけるmechanism-based medicine構築のための研究 5. 慢性痛に対する新しい診断・治療技術の開発とその標準化のための研究 6. 病態痛の発症機転(メカニズム)解明とそれに基づく新しい鎮痛法開発のための研究 7. 痛みの疫学的調査研究 8. 我が国の医療経済における痛みによる損失の推
		ヘルスプロモーション寄附講座	株式会社ロックフィールド, 株式会社大庄, 株式会社アンリ・シャルパンティエ, 三友物流株式会社	記載なし	記載なし	誰もが直面する「老い」の問題を, 中高年以降の身体, 精神, 経済生活, 住居, 地域環境, 家族とのつながり, 世代間関係, 生きがい, 社会システムといったあらゆる方面からとらえ, 以下の活動を通じて, 科学的根拠に基づいた「高齢者のための総合生活提案」を目指します.
順天堂大学医学部(1)		プロバイオティクス研究講座	株式会社ヤクルト	1億4000万円	平成17年4月1日より4年間	プロバイオティクスは、腸内バランスを整える細菌(ビフィズス菌など)の総称で、いわゆる"善玉菌"。免疫力の向上や生活習慣病の予防効果などがあるとされている。順大は院内感染の研究において、文部化学省による21世紀COEプログラムの拠点が設置されるなど定評があり、同講座内でプロバイオティクスの院内感染の予防効果の研究も行う。
北里大学医学部(1)		感染症学講座	株式会社明治製菓	2億5千万円	1998年10月より5年間の予定で開始し、その後継続され平成18年度で終了予定	記載なし
日本大学医学部(2)		東洋医学	ツムラ	非公開	非公開	非公開

非旧帝大：47大学に83講座
うち私立大学14大学に25講座

大学名	専攻	講座名	寄附母体	合計寄附金額	運営期間	研究内容（ウェブサイトなどより抜粋）	
		光量子脳工学部門（脳神経外科学講座内）	浜松ホトニクス社	非公開		1）近赤外分光法とfMRIを用いた脳機能イメージング パーキンソン病や振戦などの脳機能異常の脳内メカニズムや脳深部刺激療法の脳機能制御作用の解明を目指しています。また、脳腫瘍や脳虚血などの脳疾患例における神経活動時の酸素代謝変化も研究しています。 2）術中光計測 脳神経外科の手術中に脳組織の光学的特性を計測し、新しい脳機能イメージング法の開発を行っています。 3）脳腫瘍イメージング 3次元光CTあるいは蛍光イメージングを用いて、新しい術中脳腫瘍イメージング法の開発研究を行っています。 4）他施設との共同研究 現在、電気通信大学（知能機械工学科　山田幸生教授）と3次元光CTを応用した低侵襲脳神経外科手術法の共同開発を行っています。また東京都精神医学総合研究所（脳機能解析部門　星詳子部門長）とヒト脳組織の光学的特性に関する共同研究を行っています。	
日本医科大学（1）							
		呼吸ケアクリニック（第4内科（呼吸器）内）	非公開	非公開	平成17年度より5年間予定	呼吸ケアクリニックによる臨床治療・研究	
東海大学医学部（3）							
		在宅医療科学講座	株式会社帝人	記載なし	記載なし	記載なし	
		組織再生工学講座	株式会社ビーシーエス（BCS）	記載なし	2000年より		
		東洋医学講座	株式会社ツムラ	1億2千万円（3年間）	2002年10月より3年間（その後更新）		
東邦大学医学部（1）							
	さがみはら産業創造センター内	SRL代謝病再生医学寄附講座	株式会社エス・アール・エル（SRL）	記載なし	平成14年4月より3年間	羊膜細胞に存在する幹細胞の分離・培養法を確立し、羊膜細胞から由来する万能細胞の樹立が究極の目的であります。そして種々の機能を持つ細胞への分化誘導法を確立し、異なった目的の細胞移植治療の需要に応じる技術を確立することにあります。	
久留米大学医学部（2）							
		消化器疾患情報講座	非公開	非公開	平成17年4月1日より	当講座は，地域医療を活性化するための情報発信と，医療の向上を目指した実践活動と研究を目的として開設されました。特に，肝がんや肝炎ウィルスに起因する肝疾患以外の病気（いわゆる肝外病変）を撲滅すること，先進医療や検診システムを地域に拡大する中で新たに見いだされる病態に関する不明な部分を解明するために，日々活動してゆく所存でございます。	
		創薬再生医療学講座	株式会社イベリカ	非公開	平成16年8月1日より	世界的に注目を浴びているプロテオーム研究、再生医学研究の本学での発展及びこれらに関する先端医学領域の教育研究の充実を目的とするものです。この講座は、今後の大学の教育研究の発展に大きく役立つものであり、また、大学の知的財産を企業と連携して産業化していくことにより、社会にも貢献することを目指しています。	久留米大学　経営企画部研究推進課TEL 0942（31）7916～17

非旧帝大：47大学に83講座
うち私立大学14大学に25講座

大学名	専攻	講座名	寄附母体	合計寄附金額	運営期間	研究内容（ウェブサイトなどより抜粋）
関西医科大学(1)						
		再生移植治療学大塚寄附講座	大塚製薬株式会社	記載なし	記載なし	記載なし